



日本一人口の多い村

読谷村

人口42,305人

(令和7年6月末)

議会だより

102号 2025年6月
定例会



★議会に一言★

南小のサッカーチームを新しくして欲しいです。

題字：喜友名 泰佑
(古堅南小学校6年生)

主な内容

◎一般質問 p 6

第 543 回読谷村議会臨時会付議議案等一覧及び結果

議案番号	件 名	議決年月日	結 果	議案番号	件 名	議決年月日	結 果
議案第32号	令和7年度読谷村一般会計補正予算（第1号）	令和7年 4月24日	原案可決	承認第2号	専決処分の承認（読谷村国民健康保険税条例の一部を改正する条例）を求めることについて	令和7年 4月24日	承 認
承認第1号	専決処分の承認（読谷村税条例の一部を改正する条例）を求めることについて	令和7年 4月24日	承 認	報告第4号	専決処分の報告（運動広場倉庫金網フェンスによる受傷事故の和解及び損害賠償）について	令和7年 4月24日	報 告

第 544 回読谷村議会臨時会付議議案等一覧及び結果

議案番号	件 名	議決年月日	結 果	議案番号	件 名	議決年月日	結 果
決議第2号	在沖米海兵隊員による不同意性交致傷事件に対する抗議決議	令和7年 5月8日	原案可決	意見書第1号	在沖米海兵隊員による不同意性交致傷事件に対する意見書	令和7年 5月8日	原案可決

第 545 回読谷村議会定例会付議議案等一覧及び結果

議案番号	件 名	議決年月日	結 果	議案番号	件 名	議決年月日	結 果
議案第33号	令和7年度読谷村一般会計補正予算（第2号）	令和7年 6月19日	原案可決	議案第45号	読谷村水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	令和7年 6月19日	原案可決
議案第34号	令和7年度読谷村国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	令和7年 6月19日	原案可決	議案第46号	令和7年度村道大木喜名線整備工事請負契約について	令和7年 6月19日	原案可決
議案第35号	令和7年度読谷村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	令和7年 6月19日	原案可決	議案第47号	令和7年度（仮称）読谷村屋内運動場建築工事請負契約について	令和7年 6月19日	原案可決
議案第36号	令和7年度読谷村水道事業会計補正予算（第1号）	令和7年 6月19日	原案可決	議案第48号	令和7年度（仮称）読谷村屋内運動場電気設備工事請負契約について	令和7年 6月19日	原案可決
議案第37号	読谷村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例	令和7年 6月19日	原案可決	議案第49号	大湾東4号線から大湾東29号線の村道認定について	令和7年 6月19日	原案可決
議案第38号	読谷村長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例	令和7年 6月19日	原案可決	議案第50号	物品供給（令和7年度読谷村学習者用端末等購入）契約について	令和7年 6月19日	原案可決
議案第39号	読谷村固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例	令和7年 6月19日	原案可決	報告第5号	令和6年度読谷村繰越明許費繰越計算書（一般会計）について	令和7年 6月19日	報 告
議案第40号	読谷村立保育所給食費徴収条例の一部を改正する条例	令和7年 6月19日	原案可決	報告第6号	令和6年度読谷村水道事業会計予算繰越報告について	令和7年 6月19日	報 告
議案第41号	読谷村総合情報センター設置条例	令和7年 6月19日	原案可決	報告第7号	令和7年度沖縄県町村土地開発公社事業計画及び予算の報告について	令和7年 6月19日	報 告
議案第42号	読谷村立図書館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	令和7年 6月19日	原案可決	決議第3号	西田昌司参議院議員による沖縄戦の実相を歪め、否定する発言に対する抗議決議	令和7年 6月10日	原案可決
議案第43号	読谷村青少年センター設置条例の一部を改正する条例	令和7年 6月19日	原案可決	決議第4号	米陸軍兵による器物損壊事件に対する抗議決議	令和7年 6月19日	原案可決
議案第44号	読谷村水道事業給水条例の一部を改正する条例	令和7年 6月19日	原案可決	意見書第2号	米陸軍兵による器物損壊事件に対する意見書	令和7年 6月19日	原案可決

令和7年度補正予算及び議案の内容

指定福祉避難所等生活環境整備事業 2,664万8千円

- ・ 防災備蓄倉庫設置委託料
907万2千円
- ・ 備品購入 機械器具費
1,757万6千円



物価高騰対策重点支援臨時給付事業 1,847万4千円

非課税世帯へ

1世帯 3万円 子ども1人 2万円 支給

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 8,416万2千円

水道料金支援事業（基本料金4ヶ月分免除）

令和7年11月～令和8年2月（一般用・営業用）

伝統工芸振興事業

共同販売センター浄化槽取替工事 825万円



決議・意見書

第544回臨時議会(令和7年5月8日)

決議第2号・意見書第1号

全会一致で可決!

「在沖米海兵隊員による不同意性交致傷事件に対する」抗議決議・意見書

読谷村議会は、今回の事件に対し満身の怒りを込めて再び抗議するとともに、事件・事故の実効性のある再発防止に向けて下記の通り強く要求（要請）する

記

- 1 被害者への謝罪及び完全な補償と丁寧な精神的ケアを行うこと。
- 2 米軍人・軍属等の綱紀粛正の徹底とリバティ制度の更なる厳格化と実効性のある再発防止策をフォーラムで検証すること。
- 3 覚知後、被害者のプライバシーを最大限尊重し県及び市町村へ速やかに通報すること。
- 4 日米地位協定の抜本的改正を行うこと。

第545回定例会(令和7年6月10日)

決議第3号

全会一致で可決!

「西田昌司参議院議員による沖縄戦の実相を歪め、否定する発言に対する」抗議決議

読谷村議会は、再び沖縄を戦場にさせない決意を新たにし、以下を強く要求する。

記

- 1 西田昌司参議院議員は、史実を否定・歪曲した発言を認め、謝罪の上、発言を撤回すること。
- 2 自由民主党は、西田議員に対し厳格な処分を行い、党として沖縄に対する明確な歴史認識を示すこと。
- 3 同党は、歴史や戦争被害に対する無理解な発言を防ぐため、党内教育体制を再構築すること。

第545回定例会(令和7年6月19日)

決議第4号・意見書第2号

賛成多数で可決!

「米陸軍兵による器物損壊事件に対する」抗議決議・意見書

件 名	議決結果	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
		氏 名	與那覇 徳雄	仲 眞 朝雄	與那覇 沙 姫	城 間 真 弓	山 内 政 徳	上 地 利 枝子	平 良 勝 志	國 吉 雅 和	岸 本 大 二郎	神 谷 嘉 栄	江 田 守 恭	比 嘉 幸 雄	當 間 良 史	松 田 昌 邦	山 城 正 輝	伊 佐 眞 武	大 城 友 誼	長 濱 宗 則	伊 波 篤
意見書第1号・決議第2号	可決		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	※
決議第3号	可決		○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
意見書2号・決議第4号	可決		○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	×	※

※議長は採決に参加しない 欠は欠席

決議第4号

米陸軍兵による器物損壊事件に対する抗議決議



反対 岸本大二郎

今回事件について抗議決議の内容の確認すると沖縄県警より現行犯逮捕し事件を起こした日に現行逮捕され速やかに対応している。再発防止策リバティ制度再発防止策として沖縄市嘉手納基地前通称「ゲート通り」で自治会、米軍、警察で地域でパトロールを行なっている。何度も抗議決議をして再発防止を求めても改善がなければ、基地関係調査特別委員会は抗議決議するだけではなく事件を起こさない具体的な対策方法を提案して頂きたい。



賛成 與那覇沙姫

器物損壊や暴力事件は単に物理的な損害ではない。運転手に不安・恐怖を与えている人権侵害。酒を飲んだら日本人でもやるというのは日本人も性犯罪をおこしているというような、表現と同等で普通に暮らす人の仕事に起こした事件であるという事実をぼやかすようなことがあってはならない。単なる一兵士の問題行動ではなく、米軍の内部統制の実効性の欠如・日米地位協定の構造的な不平等・沖縄に過重な負担を押しつける多層的な構造を解決する必要がある。



賛成 城間真弓

この事件は、単なる個別の犯罪ではなく、背景には、沖縄に集中する米軍基地の構造的な問題があり、日本全体の米軍施設の約7割が沖縄に集中しているという、この不平等で過重な負担が、県民の尊厳が踏みにじられるような土壌となっている。リバティ制度など再発防止策が導入されているが、それが現場では機能していない。これは制度の限界であり、日米両政府の対応の甘さを示している。読谷村議会として抗議の意思を示し、再発防止と構造的な問題の是正を強く求め本決議案に賛成致します。

意見書第2号

米陸軍兵による器物損壊事件に対する意見書



反対 比嘉幸雄

意見書の提出権とは町村の公益に関する事件について、議会の意思を決定して国県等に表明する権限である。

公益とは社会公共の利益をいい、議会が事件ごとに判断すべきものである。町村の公益関連の事件であるか厳密な検討が大事である。意見書の提出先は意見書の内容について権限のある行政機関とされており、当事件については意見書の内容の確認が取れず「悪質」との指摘が判断出来ない為、反対します。



賛成 仲真朝雄

- ・本件は、安全運行に不可欠な保安部品を破損させた極めて悪質な事件である。
- ・現行犯逮捕された事実も重い。
- ・再発防止策の実効性を疑わざるを得ない。損害を受けたタクシー乗務員、事業者への誠実な賠償と補償を強く求め、意見書2号に賛成する。



賛成 國吉雅和

米陸軍兵は、日米安全保障条約に基づいて、トリイ通信施設に駐留している陸軍兵士である。よって、米陸軍兵による器物損壊事件に対し日本政府に意見書を提出することは当然である。基地関係調査特別委員会は、村民の生命・財政を守る立場から米陸軍兵（特技兵）による器物損壊を調査した結果、被害者への謝罪・補償と再発防止を求める意見書を日本政府に提出するものであり、意見書に賛同するものである。



渡慶次小学校横の交差点整備完了後



おおしろ ともぎ
大城 友誼

西田議員発言について村長の見解を伺う

答 村長：多くの犠牲を出した沖縄戦の実相を全く理解しておらず、個人の誤った歴史観のみに基づいて発言がされていることに対して、非常に危機感を感じている。西田議員は、沖縄戦の実相や沖縄戦から学んだ教訓について改めて向き合い、自身の歴史認識が誤っていたことを自覚し、深く反省することを願う。

まちづくり基本計画と実施計画について

問 事業の全体計画と事業概要について伺う

答 屋内運動場を先行整備、テニスコート、多目的広場、陸上競技場周辺を整備する。

問 屋内運動場の規模と課題について

答 宜野湾、北谷ドームと同等、事業費38億円、9年度に完成、アクセス道路が課題。

村道親志波平線整備事業について

(要望) 屋内ドームが出来る、読谷まつりにも使われる。アクセスがとても不便、令和9年のオープンに向けて取り組んでもらいたい。

渡慶次～儀間線の交差点改良工事について

問 事業効果、事業説明会を行ったか伺う

答 児童生徒の安全確保、交通安全に資した。説明会、広報での告知は行っていない。

問 今後は地元への事前説明会を要望する。

渡慶次～波平線の交差点安全対策について

(要望) 交差点は大変危険な状況。カラーの路面標示で安全な通学路にすること。マルクニスパー前の通学路にも路面標示を。

読谷飛行場の問題について(戦後処理)

問 生産法人、所有権回復地主会との話し合い、不法占有者の問題について

答 法人は、5月26日農業委員会で、法人の賃貸借契約が許可された。所有権回復地主会とは6回話し合いを行っている。不法占有者とは5月8日確認書の提出で示談となった。

病院誘致計画の進捗状況について

答 病院設立の要請書を6月2日に沖縄県議会議長へ、6月9日に沖縄県知事に提出。

(要望) 石嶺村長在任中に病院を設立して4万2千村民に安心と安全を与えてもらいたい。



協力を促す横断幕



かみ や か えい
神谷 嘉栄

「読谷村史 第五巻 戦時記録」を参照して

問 沖縄戦当時、読谷(山)村出身の「ひめゆり学徒隊」などの女子学徒12名(男子学徒20名)が尊い命を失った。その80年前の史実と現在、さらに、未来へ向け本村の姿がどうあるべきなのか、村長の考えを伺う

答 本村は米軍の上陸地点となり、激しい地上戦となるなか、貴重な財産と大切な命が奪われ悲劇を招いた。歴史史実の継承と絶対に戦争を起こさせないという決意を強固なものとし、平和で豊かな環境を求め、伝統文化を育み、村民の心身健康と人が繋がりあう協働のむらづくりを継承していくことと考える。

字大添・ミサワ会地域の周辺崖地

問 土砂災害(崖崩れ)箇所の前年度からの対策工事と樹木伐採の工事予定期間を伺う

答 県中部土木事務所より、令和7年6月19日から同年10月16日まで、120日間の工期で発注手続を進めているとあった。

本村農業の懸念される現状

問 セグロウリミバエの「不妊虫」を放つという防除を予定のようだが、計画内容は

答 県では現在、本島北部で試験的に不妊虫を放飼し、行動範囲を確認している。今後、10月に本島全域へ不妊虫放飼を目指す。

発育状況や生活習慣を診る「5歳児健診」

問 乳幼児へ義務となっている「健診」は

答 1歳6か月児健診、3歳児健診。

問 県内での導入自治体は1町のみで、本村を含め導入していないことの状況説明を求める

答 市町村においては発達障害を診断できる専門医の確保や、県内での診断後の相談や必要な発達支援を受け入れる専門機関の不足などが導入において大きな課題となっている。

問 課題を克服できれば、導入計画はあるか

答 条件さえ整えば、導入する意向はある。



Q 村政を問う

一般質問ダイジェスト



議会の様子をYouTubeで配信中



喜名1号線の安全対策を！

きしもと だいじろう
岸本大二郎**喜名小学校周辺の安全対策と喜名観音堂公園
緊急指定避難場所の整備について****問** 喜名小学校の児童生徒数と職員数は**答** 児童生徒512名・職員数42名。**問** 仮称喜名こども園の利用定員数と職員数は**答** 定員103名・職員23名。

(要望) 令和10年喜名こども園が小学校敷地内に新園舎として開園する。これまで以上に喜名1号線・41号線の交通量が増える、喜名地域安全と児童生徒の通学路の確保と車両を軽減する為、観音堂公園を整備し緊急指定避難場所として活用出来る事から村長へ要望する。

問 村長の見解は**村長** いろんな意見を踏まえ検討する。**若者(青少年)の居場所作りについて****問** 青少年を利用する対象年齢は**答** 小学校～18歳です。

(提言) 兵庫県尼崎ユース交流センターを昨年10月に文教厚生常任委員会で視察し、本村も新しい展開で、総合情報センターの図書館・学習スペース利用して居場所作りの新しい展開は必要です。不登校だけではなく学校へ通っている子どもが中学校卒業後、高校生、大学生への取組み計画を立て居場所作るのも必要である。

横田地域について**問** 横田自治会集会所後の傾斜地が崩れる恐れがある。早急に対策して欲しいとの声があるが本村の見解は**答** 行政懇談会でも受け管轄する県への必要性を訴えてまいります。

問 集会所は県が指定した土砂災害警戒区域、特別警戒区域レッドゾーン近くに集会所がある。これまで移転と対策を行政へ求めている。台風・大雨・地震により崩れた場合に集会所としての機能を失うことだけではなく、村行政機能の一部も失う事になる。村として横田地域へ対策を行なって欲しい。

答 対策方法について検討する。

乳児用遊具一泊城公園内

ながはま むねのり
長濱 宗則**泊城公園がリニューアルで週末は多くの親子で大賑いである。これから夏場のシーズンに向けて多くの利用者が増加すると思われるが現在の駐車スペースで足りるか**

答 新設駐車場を含め140台設置している、平日は十分余裕があるし休日も概ね台数は確保できている、今後も利用状況については注視していく。

問 利用者が多く、防犯カメラの設置が必要と思われるが

答 今年度中で設置する予定である。**問** 指定管理制度の考えは**答** 現在の管理委託で行きたい。**基地関係交付金、総務省からの国有提供施設等所在市町村交付金、施設等所在市町村交付金額を伺う**

答 令和4年度国有提供施設、施設等所在で合計3億7,569万1千円、令和5年度、合計3億7,327万4千円、令和6年度、合計3億7,192万6千円、それぞれ一般会計に歳入。

問 特定防衛施設周辺整備交付金の令和4年から6年度の実績と事業名を伺う

答 令和4年度、牧原公園東屋、牧原自治会慰霊碑建立、社会福祉マイクロバス、その他6事業で2億2,598万4千円、令和5年度、古堅差門原地区道路整備、セーラ園苑身障者駐車場、村道渡慶次から儀間線交差点改良工事、その他4事業で2億1,236万8千円、令和6年度、古堅団地駐車場整備、読谷給食調理場物品購入、読谷中学武道場改築工事、座喜味7号線整備、その他7事業で2億1,690万1千円。

再編交付金の活用した事業予定と基金残高は

答 今年度以降は、再編に係る基地からの影響を受ける古堅中学校区の11自治会に於いて自治コミュニティ施設の改修事業に充当し事業を進める。令和6年度の基金残高1億4,649万4千円。



平和を築くなら貧困は正を

よなはさき
与那覇沙姫

生活保護、年金、児童扶養手当、特別児童扶養受給手当世帯の粗大ゴミ手数料免除について

答 家計の中から負担するものだと考える。免除対象にする考えは現在ない。

問 他の自治体は手数料免除で負担を和らげている。支援の対象とし、負担を求める対象とするべきでない。免除項目への追加の再検討を

村長 手数料条例は困窮世帯の話ではなく、新たに粗大ゴミ手数料を徴収をするということ。生活保護や年金については別途に考えるべき。

問 考えるべきから外さないでほしい。沖縄の高齢者は全国と比べ貯蓄が少ない・年金額が低い・就労収入に頼る割合が高い。米軍統治下のものとで年金制度導入が遅れた影響がある。県の調査をもとに制度構築を。次の議会でも取り上げる。

セーフティネット法について。2017年10月から国が制度スタートしているが活用されてない。

答 専用住宅として登録していない状況。現状は村がやりたくてもできない状況。まずは、ニーズ確認・広報・周知が必要と考える。

問 国・県・村で家賃補助を行ってほしい。計画にはタイムスケジュールが必要だがどうか

答 県で慎重に判断していく必要がある。タイムスケジュールはこちらで判断できないため答弁を控える。

生活保護への適切な支援として、村は独自の捕捉率の調査や無年金・低年金について把握することにより適切な保護決定・支援が可能になるのでは

答 低年金や無年金、捕捉率の調査は行っていないので、数字を出すのが難しい。

(要望) 本村は都市部と離れた地域なので車保有を認める動きも必要。国の車保有率1・8%。村は0.47パーと国よりも低い。家庭の背景に見合った保有を認めてほしい。



村民の声と共に政治を動かす!

しろま まゆみ
城間 真弓

戦後80年を迎え、本村の平和教育と平和行政における現状と方向性とは

問 戦争を「過去の出来事」としてではなく、日常にある差別や偏見、無関心に目を向け、人との違いを対立ではなく“つながり”に変えるような実践の学びや「今の日本は本当に平和か」といった問う力や考える力を育てることが重要だと考える。本村として、このような村独自の平和カリキュラムの導入はできないか

答 いじめや、人権問題も含めて、生徒の実態に合わせた指導を行ってきたが、身近な平和は皆さんの学校生活や家庭生活からしっかりするようにと指導していきたい。

(提起) 平和学習において、平和ガイドや語り部の果たす役割は非常に大きい。そこにある思いや体験を“生きた言葉”で語ることで歴史や教訓を伝えることができる。次世代に語り継ぐための育成強化と支援体制の強化を。

子どもが心から安心できる居場所づくりと、貧困対策について問う

問 今後村内で取り組まれる民間の子ども食堂やこどもの居場所において、支援を拡充していく予定はあるのか。また、物価高騰における中間層を含めた支援策等を考えているか

答 こどもの居場所やこども食堂においては今後も支援を行っていく。物価高騰対策は住民税非課税世帯を対象に物価高騰対応重点支援臨時給付金を給付していく。

読谷村増進センターの運営管理について、利用者の皆さんから安全管理に対する指摘と、人員体性について、不安と不満の相談が後を立たない。村としての対策は

答 利用者の安全安心を第一とした管理運営を徹底するよう引き続き取り組んでいく。

本村の公立幼稚園における職員の業務負担に対する対策とは

答 規則では1学級35人以下に対し現在20人前後の少人数学級とし、特別支援教育支援員各園1人、特別支援ヘルパーを全体で15名配置している。また、本年度は読谷村立学校働き方改革検討委員会を設置し、働き方改革に努めていく。





村道50号雑草繁茂状況

ひが ゆきお
比嘉 幸雄**読谷村入札制度・土地開発行為について**

問 JV入札制度の発注金額はいくらか

答 おおむね建設工事1億5千万円以上、電気工事5千万円以上、管工事8千万円以上としている。

問 入札参加者の資格審査の方法・内容は説明を求める

答 資格審査申請書、JV協定書、技術者の資格・施工実績、代表者の確認、出資比率の確認、配置予定技術者の確認。

問 JVでの親会社の選定方法は説明を求める

答 JV結成は自主結成とし、代表者は最大の施工能力を有するもの。

問 設計業務も建築工事並みの積算と価格設定を求めたい

答 官庁施設の設計業務等積算基準及び参考資料に基づき積算されている。人件費についても設計業務委託等技術単価を採用している。

問 読谷村は他市町村より、土地開発許可制度の申請書類が多いと聞く

答 本村もうるま市同様、最低限必要な書類の提出を求めている。

高さ制限設定について、その目的・地域別などを求める

答 都市計画法に基づく用途地域は高さが制限されている。用途未指定地区、西海岸リゾート地区、村民センター地区は本村の交流拠点としての利便性、機能性の観点を目的とし12m
残波岬周辺、水辺景観保全地区は自然海岸保全地区・比謝川、長田川保全地区においては保全を目的に10m。

問 開発行為不要平方メートル数を500㎡から1000㎡に変更してもらいたい

答 見直しの予定はない。

村道喜名50号線農業支援センター地区のビニールハウスに挟まれた道路の早期の除草を求める

答 早期に発注に取り組んでいきたい。

小中学生の自転車粗暴運転が見られる。急な飛び出しもあり危険である。安全指導は行っているか

答 小学校ではお話や映像等での安全指導、中学では交通安全に関する学習指導を行っている。



残波公園のアイドルサクラ猫!

やましろう せいき
山城 正輝**国道読谷道路第一工区(沖ハムから県道12号)は、3月議会以降、5つの橋のうち、2橋はでき、1橋は全く手がつけられてない。供用開始も見通せない!**

問 3橋と5橋、村道付替工事は、どうなっているか

答 鋭意努力していく。

残波岬公園における「潮騒の森」等は、緑保全のため管理し、伐採木等は、今後整理する!

問 道路の草刈り、「美しい琉球」碑建立、サクラ猫活動支援をすべきではないか

答 草刈りは1.5mに拡大。歌碑は、注視し、サクラ猫活動は、チケット配布中。

国道58号伊良皆「コア」東の安全対策等は、「滑り止め設置」「注意喚起標示」「右折レーン延伸」を今年度予定!

問 抜本策として信号機設置すべきでは

答 嘉手納署が条件を満たしていないと判断。

長浜運動場南、(仮称)長浜25号線の建設は、優先度を考慮して進める!

問 関係者と話し合うべきではないか。村への指定寄付についても知っているか

答 寄付は、知っている。

村長 総合判断して進める。

バナラビーンズ栽培について、用水管理しており、普及作目として、支援策を検討!

問 ダム用水の抜本的浄化策をどう考えているか

答 曝気装置でダム湖内に空気を送って、水質保全を図っている。

県道12号線座喜味中ヌ川辺りの磁気調査は、6月30日から8月29日まで延長になり、その後、アンガー式法面舗装工事になる!

問 なぜ調査延長になったか

答 鉛直検査と解析の数量増になった。NTTのケーブルもまだ移設されていない。



読谷村まちづくり構想

えだ もりちか
江田 守恭

多目的広場の人工芝化について

問 進捗状況と今後の予定

答 屋内運動場完了後に整備。

問 熱中症や暑さ対策は

答 屋根付きベンチを三箇所、ミストシャワー等の設置も検討。

問 冷房設備を備えたクラブハウスを設置しては

答 検討する。

小学生のスポーツクラブについて

問 スポーツクラブに対する見解は

答 子ども達が心身共に健やかに育ち規律や協調性、責任感などの社会性を養うのに重要

問 支援やサポートは

答 各種団体（協会）への補助金や県外派遣費の助成など。

問 劣化や破損した備品・設備の修繕は

答 バックネットやバスケットリング等の学校設備は学校が、サッカーゴールやバレーのポールはクラブの備品なのでクラブが修繕。

問 学校にクラブの倉庫の設置は

答 学校教育に支障のない範囲で、維持・安全管理等についてクラブと校長、教育委員会と協議し可否を判断する。

（提言）スポーツを通して子どもの居場所づくりや健全育成をボランティアで行っている。子ども達のために備品や設備整備等の支援を

環境美化センターについて

問 ゴミの量とランニングコストの推移は

答 ゴミの量は減少し、コストは増加している。

問 ゴミは減っているがコスト増になる原因は

答 施設の老朽化による修繕費の増。

問 焼却炉等の施設の状態は

答 経年劣化により焼却炉内や排水処理設備等の補修や修繕を行うことが望ましい。

問 建替えの計画は

答 R10～12年整備、R15年運用開始の計画。

（提言）コストカットや長寿命化、税金を有効活用するためにも、草木の処理を焼却処分するのではなく、草木資源化施設へ搬入する体制が必要。水分を含んだ草木の焼却は焼却炉の負担もコストもかかる。草木回収日を設け、処分に係る費用を人にかけるべき。



観光振興計画に「観光地域づくり法人(DMO)」の設置検討がうたわれている

くによし まさかず
國吉 雅和

米軍は、1945年4月1日西海岸へ上陸

答 日本軍の妨害はほとんどなく無血上陸でした。その日で北飛行場を占拠し、拡張工事は5月に完了。沖縄戦及び1938年からの一連の戦時下で約4千人の尊い命が奪われた。1946年8月以降帰村準備が行われ、1948年4月、15,400人の移動が完了した。

(株)読谷クルリゾート沖縄について

答 宿泊施設建設費総額は4億円でその内ふるさと融資制度の償還金は7,500万円。「海の家」は国補助額10,720万円、県補助額2,680万円、村負担額5,069万円。なお、村負担額は事業者の指定寄付。

PFI事業の民間商業施設について

答 事業者より、融資確定後に工期等の具体的なスケジュールが示される。テナントは、ホームセンターとスーパーを予定している。

第3次読谷村観光振興計画について

問 観光振興の強化にDMOの検討とある

答 観光協会と設置に向けた意見交換をしているが、組織や人材確保等の課題がある。

問 観光振興計画でDMOの位置付けは

答 観光地域づくり法人(DMO)の設置も有効な手段として位置付けている。

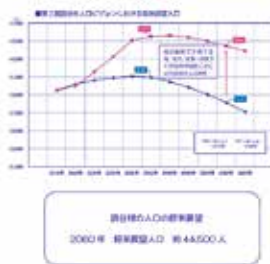
沖縄県内自治体首長選挙について

答 市長選挙は全て投票選挙。30町村の選挙は投票選挙19町村、無投票選挙11町村。中部6町村は投票選挙が北谷町、北中城村、中城村。無投票選挙が読谷村、嘉手納町、西原町。

問 投票選挙と無投票選挙について

答 投票選挙は直接、リーダーを選ぶ機会が無投票選挙は立候補された方に対し、住民が一定の信頼を寄せている表れと捉える。





読谷村の人口推移

とう ま りょう じ
当問 良史

「人口日本一の村」になって

問 人口日本一の村になって10年が過ぎたがその効果は

答 平成26年に岩手県滝沢村の市政移行に伴い本村が人口日本一の村として取り上げていただく機会が増え、広く認知されるている。

問 市へ移行する考えはあるか

答 市になる為の条件を満たす事が難しいため具体的に検討した事はないが、市政移行すると福祉事務所の設置、県などからの権限移譲による行政サービスの拡充が考えられる。

読谷村の人口はどうなっていくのか

問 「第2期読谷村人口ビジョン」において2045年にピークを迎えるとあるが

答 推計では2045年の45,600人をピークになだらかに減少して行くものと考えている。

問 今の時期から育児政策を見直し人口を増やしていく政策が必要と考えるが

答 安心して、子供を産み、健やかに成長できる村づくりを基本理念に子育てしやすい村の実現のための施策に取り組んでいる。

建物の高さ制限を考える

問 建物の高さを指定する景観条例の見直しは

答 平成21年に条例を制定するとともに景観計画を策定し、本村の自然、歴史、文化と暮らしと深く結びついた景観行政に取り組んでおり、令和5年に一部見直しを行っている。

問 どのような見直しを行ったか

答 景観形成重点地区ごとの基準の設定。

問 景観維持と都市化へのバランスは

答 人口動態の変化や生活環境の多様化に伴い、一定の都市的な利便性や機能の充実も求められている。

問 座喜味城跡周辺を無電柱化にすべきでは

答 無電柱化を行う計画をしている。

車輛が地面を擦る伊良皆区内、
今年度改良工事予定よ な は の り お
與那覇徳雄

渡慶次小学校体育館横の交差点改良工事の経緯と目的を伺う

答 令和2年渡慶次小学校から要望書が提出され、懸念事項であったすれ違い交差状況を解消し、児童生徒の安全確保の目的で、交差点改良工事を実施した。

問 当該交差点の3年間の交通事故件数は

答 過去3年間事故は発生していない。

問 改良工事で村道渡慶次儀間線の幅員はどうなったか大型車の左折に支障はないか

答 改良後幅員5mと現況幅員を確保、大型車は鳳バスを想定、一時停止・安全確認等を行いながら通行可能と考える。

海浜清掃の成果と課題を伺う

答 村民等の環境美化、ごみ減量化に対する意識の啓発に繋がっていると認識。課題として収集等に時間を要する魚網や流木等の大型ごみの漂着がある。

問 ボランティアによる海浜清掃に車両や人手を派遣して欲しいとの要望があるが

答 ボランティアの皆様が収集したごみ運搬を適宜行なっている。収集困難な大型ごみは、連絡があれば後日対応している。車両や人手(運転手)の派遣の予定はない。

村行政に働く職員の自治会加入人数及び加入率(正規職員、会計年度任用職員)を伺う

答 正規職員自治会加入人数127名率65, 8%、会計年度任用職員130名率51, 0%。

問 住民の意向や意見を伺い包括的コミュニティづくりを推進すると施策にあるが、実施時期と取り組み内容は

答 各自治会と調整し決定する。自治会加入促進の仕組み、取り組み状況の発信、自主防災組織との連携強化等を柱と考えている。

長浜東表原地区の農道整備が必要だが伺う

答 適宜砂や砂利、碎石等で部分的に補修。

道路整備で伊良皆610・149番地の道路は車両が地面を擦る状況だが、改良出来ないか

答 下水道管の布設工事7月上旬発注予定。工事実施に併せ道路勾配改良を検討したい。



役場公用車に宣伝広告を

やまうち まさのり
山内 政徳

まちなか留学について

問 まちなか留学に参加した子ども達の学校への出席扱いはどうなっているか

答 子供が平日に学校を休み、校外で保護者者体験活動をすれば出席扱い。最終的には校長判断。教育的効果があるか校長会で検討。

去年の夏は全国的に猛暑で、多くの自治体で公共施設を暑さしのぐシェルターとし施設を市民に開放している。村も検討するとの事だったが検討内容を促う

答 格部署が所管する公共施設等クーリングシェルターして位置付けし、活用できるよう検討し調整を進める。

学校体育館へのクーラー設置の検討状況を促う

答 引き続き情報収集を行っていく。

脳ドックについて、読谷村民は受ける方法があるか

答 国民健康保険に加入の方は、脳ドッグが含まれた特定健診受診券、ならびにガン健診等受診券を使えば、7,271円から最大で19,616円の割引が適用される。

带状疱疹ワクチンの定期接種の対象外となる人に対し任意接種の一部補助はできないか

答 対象者以外への予防接種の助成についての制度はない。

パワハラ等について現状はどうなっていますか

答 外部相談窓口として読谷村ハラスメント相談[そっとライン]を設置。スマートフォン等から24時間いつでも相談を受け付ける事が可能となっている。

ゴミ収集車等に、事業広告は出来ないか

答 費用対効果も含め、内部で議論していく。



学校入り口・校門の施錠は必要か否か

たいら かつし
平良 勝志

幼小中学校の安全対策

問 授業時の学校敷地出入口の施錠は

答 授業時の学校敷地出入口においては門は閉めており施錠は行なっていない。遅れて登校する児童生徒や保護者、来校者の出入口用の門から出入りできるようにしている。

問 不審者対策訓練は

答 幼稚園・小学校では、不審者侵入を想定した避難訓練を毎年実施し、中学校では本年度不審者進入に関する職員研修を計画している。

幼小中のいじめ

問 児童・保護者から相談があった際の初動は

答 いじめを受けた児童生徒・保護者から詳細な聞き取りによる事実確認を行い、校内いじめ対策委員会にて今後の対応について検討してまいります。

問 身体的いじめが発覚した場合の動きは

答 身体的いじめが発覚した場合は事実確認を行い暴行や傷害の犯罪に相当すると判断した場合はいじめを受けた児童生徒・保護者と相談し警察への通報や相談を行い、警察と連携していじめを行なった生徒への指導と保護者への支援を行っている。

読谷村の少子化対策

問 現状の取り組みサービスは

答 「子どもを産み健やかに成長できるむらづくり」を基本理念に子育てしやすいむらを実現するため保育・教育環境と学童保育の充実を目的に認可保育園・認可外保育施設への支援や放課後児童健全育成事業、児童手当などの各種給付金事業を実施している。

問 今後の行政としての取り組みは

答 令和6年度に策定した「第3期子ども・子育て支援事業計画」に基づき教育・保育体制や子育て支援の充実、母性ならびに乳幼児等の健康の確保・増進、支援を必要とする児童等をもつ世帯へのきめ細やかな取り組みを推進していく。



Q 村政を問う

一般質問ダイジェスト



議会の様子をYouTubeで配信中



5歳児健診の実施を

まつだ 昌邦
松田 昌邦

5歳児健診について

問 0歳から就学時までの乳幼児健診状況の内容及び費用と補助金は

答 乳児健診、1歳6か月、2歳児健康広場、3歳児健診、就学時健診は無料実施。

問 小学校での特別支援学級への編入、通級判断は

答 学校と保護者からの申請を受け教育委員会で審議判定している。

問 5歳児健診が必要と考えるが

答 必要性は認識しており、専門医や専門機関の不足等の課題解決を図りたい。

地域部活動展開について

問 本年度目標及び課題は

答 指導員配置実施要綱策定と人材及び予算確保に努める。

問 村独自のモデル構築について体育協会、文化協会等を中心とした、議論は

答 両団体の重要性は認識しているが、現時点で活用展開議論は行っていない。

問 平日の部活動展開について現状は

答 令和8年度より部活動指導員の配置を検討する。

問 小学校のクラブ活動と部活動も幅広く議論すべきと考えるが

答 中学校展開と学校の働き方改革とは異なるものである。

※もう一方の当事者になる子ども達を含めた議論を!

仮称「総合情報センター」について

問 村立図書館の利用者数と小・中・高校生割合、利用者の移動手段及び今後の利用見込みまた事業成功への鍵は

答 令和6年度19,213人で、6歳～17歳までの利用率率17%台である。移動手段は自家用車、公共交通、自転車、徒歩である。今後は年間来館者10万人を想定。成功への鍵は複合施設の機能を活かし、連携による活用が鍵となる。

公共交通促進について

問 路線バス利用者数は如何に

答 読谷バスターミナルを発着する利用者数令和5年度、5系統合計1,532,129人。

問 本村への観光者数推移と今後の見込みは

答 令和5年度本村実施の観光入込客数調査で1,817,153人で今後も好調に推移する。

問 役場周辺に移転誘致は

答 村の土地利用計画による移転は考えていない。



大湾ローソン横の渋滞状況

いさ しんぶ
伊佐 眞武

村道比謝横断線について

問 分筆測量業務の進捗状況は

答 令和6年度予算を繰越し、現在、実施設計を実施している。

問 地権者への同意取付作業はいつ頃の見込みか

答 分筆測量における境界立会いの際、事業説明を行い、同意作業はその後実施する。

問 道路工事が始まる時期はいつ頃の見込みか

答 用地取得状況を踏まえて、工事可能な所から着手していく。時期は未定。

村道比謝・牧原線、ローソン横の朝夕の渋滞対策について

問 村道伊良皆南線の一部拡張し、右折信号機の設置は出来ないか

答 南側のみで拡張が可能か詳細設計をしないと判断出来ない。また、対面の道路中心がズレている問題もあり、難しい。

問 渋滞改善のために、比謝交差点、大湾交差点に誘導する様、周知してはどうか

答 周知の仕方を検討したい。

地域振興センター東側駐車場について

問 安価なアスファルト再生材による簡易舗装で改善してはどうか

答 状況を確認しながら適宜対応していきたい。

伊良皆・大湾排水路の維持管理について

問 草木が繁茂している。早急な対応を求める

答 中間辺りは業者に発注し、完了している。残り区間は地権者への指導など検討したい。



公共施設等で進む、ほじょ犬同伴の啓発



なか ま あさ お
仲真 朝雄

米軍関係者による性被害について

問 着任兵士への人権教育を把握し働きかけているか

答 基地内の規則や沖縄文化、県民との関係など。研修プログラムは把握していない。軍転協の要請行動など随時取り組んでいる。

問 「リバティ制度」の評価と見直し協議は

答 評価していない。軍転協を通して国に要請。

問 「フォーラム」が開催されたが

答 当会議は個別の事件の要請は行わない。様々な場面で粘り強く交渉する。

問 児童生徒への注意喚起、自己肯定感を育む教育の現状は

答 授業、その他の場でしっかり行なっている。
(提言) 犯罪再発の原因は多様、あらゆる機会を捉えて防止を要望する

高齢者等の在宅看取りについて

問 実現と普及の課題整理は

答 R5年の村民の死亡件数の72、5%が病院で死亡。課題は多い。介護や家族、医療機関、訪問看護事業所等の連携が不可欠。

問 行政の積極的関与が必要。どう取り組むか

答 多くの連携を行い、意思決定の支援を行う。ACP（人生会議）の普及啓発に取り組む。

(提言) 人生会議、他の看取り啓発に地域の宗教者の登用を求める

「改正バリアフリー法」に基づく本村の取り組み

問 重点整備地区指定とマスタープラン策定は

答 指定、策定は行わず、個別の対応。

問 当事者の声等の事業への反映は

答 バリアフリー法、県条例による整備基準に基づき行っている。

問 情報バリア解消と心のバリアフリーは

答 各部署において様々な支援を行なっている。

問 身障者補助犬の公的施設への周知徹底は

答 村HPでの啓発、施設での「補助犬」受け入れステッカーの掲示等啓蒙に努めている。

(提言) 読谷のホスピタリティを充分発揮できる取り組みを望む



うえち り え こ
上地利枝子

スポーツコンベンション事業について

問 これまでの実績と今後の取り組みは

答 多種多様な競技のキャンプや大会誘致に取り組み、経済への波及効果及び地域振興を図り、スポーツを通じた夢・希望・感動の賑わいのある村づくりを推進している。

問 人材育成と児童生徒への教育的連携は

答 プロ選手を間近で見たり、直接触れ合うことで目標を抱く機会になり、子ども達の心と体の成長の可能性に繋がる。キャンプ受入時には、教育委員会や各種団体等と調整を図り、取り組んでいる。

読谷村におけるシングルマザーの実態

問 年代別の人数 10、20、30、40代

答 10代 2人、20代 62人、30代 191人、40代以上 281人 合計 536人。

問 就労状況(人数)

答 無職 5人、就労中 480人、休職中 26人、その他 21人、不明 4人。

問 住まいの状況

答 実家 137人、アパート 329人、持ち家 4人、不明 66人。

問 シングルマザーの経済状況は

答 沖縄県のひとり親世帯の調査によると母子世帯の48、1%が年収200万以下と経済的に厳しい状況にあると認識している。

問 読谷村は、シングルマザーの皆さんが自立するため、どのように支援しているか

答 児童扶養手当等給付事業、医療費助成事業、就労支援が必要な場合は「ゆいはあと中部」へ案内している。

問 自立への早急な取り組みとして若年シングルマザーの皆さんへ運転免許取得の支援についてはどのように考えるか

村長 村内のシングルマザー、貧困家庭について、実態を把握して、何ができるのか話し合っていきたい。

孤独・孤立対策推進法について

答 高齢者一人暮らし世帯へ弁当配達をしながら見守りをし安否確認を行っている。



水道料金改定条例の審査報告

今回の料金改定は、平成5年の料金改定から30年間、実質的な水道料金の値上げをせず事業を継続してきたが、昨今の物価高騰や県企業局の受水料金値上げ、今後多くの施設・管路等の更新・耐震化に多額の費用を要するなど村の水道事業が令和7年度以降は赤字が予測されるなど大きな影響を受ける。このままでは安定した水道事業の継続は困難になる。村民の生活を支えるライフラインとしての水道事業の継続のため、村の水道料金の改定は必要である。

水道料金の改定にあたっては、現行の水道料金は生活料金の低廉化による小水量使用者への配慮や使用水量が多くなるほど水道料金が段階的に高くなることで大切な水資源の需要を抑制する節水効果を図ることを意図した水道料金体系となっている。

さらに、改定期期について水道料金の値上げを段階的に行うことで村民等、使用者の負担感の軽減になるとし、令和7年10月及び令和8年4月に料金改定を行うこととした。

本委員会は、令和7年6月17日討論と評決を行い議案第44号は全会一致で原案通り可決すべきものと決した。

その後、本会議において令和7年6月19日に全会一致で原案可決。

1 料金改定スケジュール

[単位：円/m³]

期 間	料 金	現行料金からの改定額	減免額
自 平成5年6月1日 至 令和6年9月30日	102.24	—	—
自 令和6年10月1日 至 令和7年3月31日	120.84	+18.60 (+18.19%)	−4.40
自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日	125.24	+23.00 (+22.50%)	—
自 令和8年4月1日 至 —	135.7	+33.46 (+32.73%)	—

※ () 内は改定率

2 減免内容

①減 免 額：4.40円/m³

②期 間：令和6年10月1日～令和7年3月31日

③減免方法：条例及び規程に基づく減免。具体的な手続については別途通知予定。

平和継承事業へ参加してきました

人々の暮らしが戦争に 飲み込まれたということが見えてくる



近い将来、これまで沖縄戦の記憶を次代に伝える役割を担っていた「戦争体験者」がいない時代を迎えます。戦争体験者の言葉は、歴史継承と平和創造のためのもっとも重要な要素のひとつです。しかしこれからは、先人たちから学んできた歴史を、私たちが「伝える」「残す」役割を担っています。戦後80年平和継承事業は、このような時勢を背景に「非体験者が伝える・残す」ことに重点を置いた事業です。

その中のひとつとして、ユンタンザミュージアムでは、講座や展示を通して読谷村の戦跡の周知を行っています。自宅や学校の周りなど、生活の中に歴史を伝える場所があることを知り、沖縄戦や平和について語ることをより身近に感じてほしいという思いで実施しています。

今年度開催している『戦跡めぐり』には、小学生から戦争体験者まで広い世代にご参加いただいています。参加者からは「文字情報だけでなく、現地に行くことの大切さを感じた」「これまで学んだことを子どもたちや周りの人に伝えていきたい」などのご意見をいただいています。

これからも、ひとりでも多くの方に戦後80年目の課題を自分事として捉えていただけるよう取り組んでまいります。

瀬名波ガー

産湯(ウブガー)・正月の若水を汲む場所として大事にされ、また洗濯や飲料水など生活にも必要な水源でした。戦中・戦後の混乱期にも飲料水として、多くの人々の助けになった「ガー(湧水)」です。現在でも、水の恩に感謝し、大御願・フトゥチ御願で拝している、瀬名波の人々の大事な場所のひとつです。自治会でも年に1回、ガーに流れ込んだ砂を取り除く清掃も行われています。また、一般ボランティアの皆さんも活動し、共にガーや海を守っています。



アバシヌンジガマ

アバシヌンジ「ハリセンボンのトゲ」を意味し、シティは「捨てる」を意味しています。ハリセンボンの針を捨てる場所で、先人の穴居生活の跡地で貝塚のような場所だったかもしれないというガマです。しかし、戦争になると、防空のガマとして使われるようになりました。頑丈なガマは、上に爆弾が落下しても破壊されことなく、避難していた人は全員無事だったそうです。



瀬名波の戦時中の世帯数
100～150世帯ほどと推測

瀬名波の戦没者数
137名

イエーヌガマ

別名「クラシン(暗い)ガマ」とも言われ、昼間でも暗い場所でした。また、風葬墓も残る場所で、すごく大事な場所だということがわかりました。戦争が始まると、渡慶次や宇座などの他の字の住民も避難してきたそうです。イエーヌガマの目の前は海であることから、魚も上がることから食料に困らなかったとのこと。ガマ内部には、当時のお墓(風葬墓)が残っています。ガマの内部や周辺には、御願する場所が数ヶ所残っており、今でも御願されているとのこと。地域の人々の神聖な場所でさえも、戦争中では関係なく防空として利用されたことがよくわかりました。



↑ガマの内部と、外の明るさの違い。



残っています！
当時のお墓風葬墓が

今回の戦跡めぐりは10代～70代と幅広い世代が参加していました。清掃活動をしなが、沖縄のこれからの話したり、帰りのバス内で沖縄の話をするなど貴重な時間を過ごすことができました。あと2回「読谷村の戦跡めぐり」があります。ぜひ、この機会を逃さず参加して「平和」について考えてみませんか？



▲Youtube
動画配信中！

りっかりっか読谷村議会

令和7年9月定例議会は9月9日(火)開会予定。

議会の日程についてホームページでお知らせしております

読谷村公式ホームページアドレス

<http://www.yomitan.jp>

〈お問い合わせ〉

議会事務局 TEL 098-982-9225